

165	父子十手 捕物日記	名同心の父から十手を受け継いで二年、美味い物と娘の尻ばかり追いかけている文之介。時には近所の餓鬼から悪戯されるが、筋はいい剣術と持ち前の人の善さが功を奏し、難事件も見事落着。幼馴染みの中間勇七を随え、今日も		徳間文庫
166	一輪の花	瀬戸物屋の見澤屋が襲われた。この二ヶ月間で九軒の大店が同じと思われる盗賊に入られているのだ。しかも、文之介にベタ惚れのお克の店までもが！ さらに今度は、なんの手がかりも得られぬうちに人殺しが起きた!! どうする御牧父		徳間文庫
167	春風そよぐ	執拗に命を狙ってくる見覚えのない浪人が、十六年前に関わった事件に絡んでいることを悟った丈右衛門。いまだ脳裏から拭い去れない、たったひとつの事件その謎とは？ そして、浪人の遣う恐るべき秘剣に御牧父子は、どう立ち向か		徳間文庫